

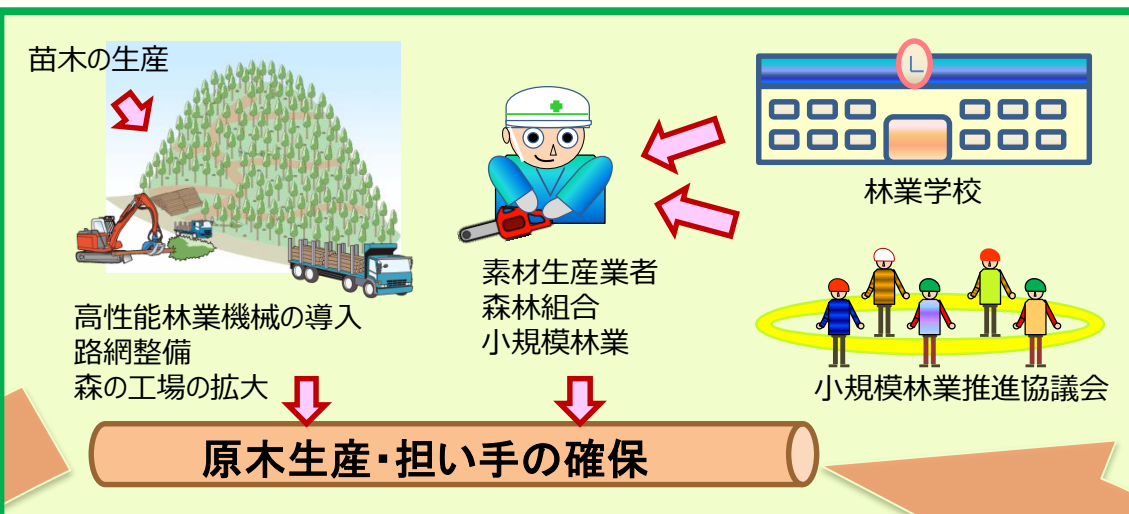
分野を代表する目標	木材・木製品製造品出荷額等	現状 (H26) 204億円⇒4年後 (H31) 220億円⇒6年後(H33)232億円⇒10年後 (H37) 256億円
	原木生産量	現状 (H26) 61万m3⇒4年後 (H31) 78万m3⇒6年後(H33)81万m3⇒10年後 (H37) 90万m3

## 柱1 原木生産のさらなる拡大

- 生産性の向上による原木の増産
  - ◆森の工場の拡大・推進
  - ◆効率的な生産システムの導入を促進
    - ・高性能林業機械等の導入
    - ・路網の整備
  - ◆皆伐の促進
  - ◆原木の安定供給システムの構築
- 持続可能な森林づくり
  - ◆[新規]苗木の生産体制の強化
  - ◆再造林への支援と低コスト育林の推進
  - ◆間伐の推進



## 構築した川上から川下までの仕組みを生かして、“森の資源”を余すことなく活用



## 柱5 担い手の育成・確保

- 林業学校の充実・強化
  - ◆林業学校における人材育成
  - ◆森林組合等の県内事業者への雇用促進
- きめ細かな担い手確保の強化
  - ◆林業労働力確保支援センターと連携した就業者の確保
  - ◆移住施策との連携による担い手の確保
  - ◆特用林産業新規就業者の支援
- 事業者の経営基盤の強化
  - ◆林業事業者のマネジメント能力向上
  - ◆林業事業者における就労環境の改善
- 小規模林業の推進
  - ◆[拡充]小規模林業の活動を支援

## 柱4 木材需要の拡大

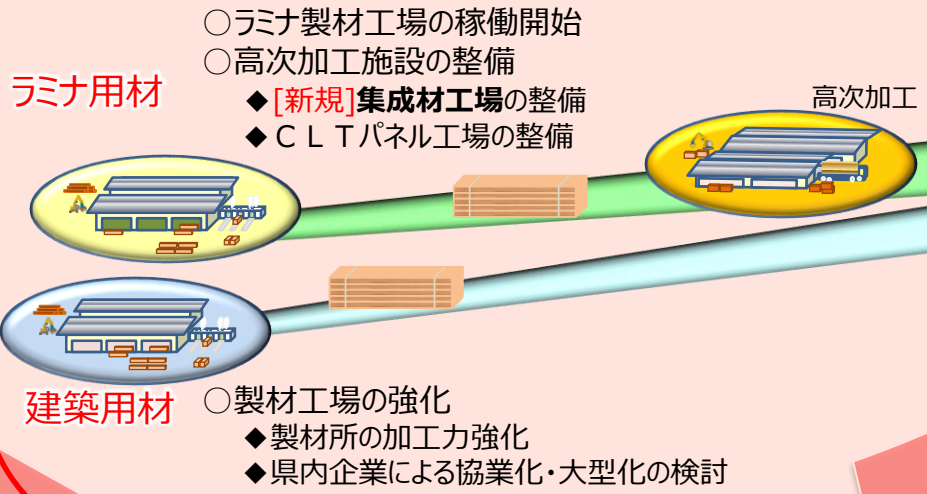
- 住宅・低層非住宅建築物等における木材利用の促進
  - ◆[新規]低層非住宅建築物の木造化の促進
  - ◆県産材を活用した木造住宅建築の促進
- CLTの普及
  - ◆CLT建築物の需要拡大



### 拡大再生産へ!

## 林業・木材産業 クラスターの形成

## 柱2 加工体制の強化



## 柱3 流通・販売体制の確立

- 流通の統合・効率化
  - ◆県外流通拠点を活用した取引の拡大
  - ◆トレーラー等による低コスト・定期輸送の増加
  - ◆外商活動体制の抜本強化
- 販売先の拡大
  - ◆県外での土佐材を使用した建築の推進
  - ◆[拡充]海外への販売促進



### 森の資源を余すことなく活用